第１０２号　日本共産党我孫子北地域後援会ニュース　２０２４年２月

北地域後援会は我孫子１～４・久寺家・台田・つくし野・並木・根戸・布施のエリア

しらかば北

発行責任者
井上文夫

12月議会に初登壇　船橋議員堂々の質問

私は2023年我孫子市12月議会で、初めての質問をしました。緊張しましたが支援者の方々が傍聴に来てくださり、心強く落ち着いて質問ができました。先ず「平和が一番」という私の信条を述べた後、次の3点を質問しました。要約してお知らせします。

1. 歩道の改善　国道356号～二本松踏切　間の道路にガードレール又は安全ポールを

私は毎朝二本松踏切前に立って学童の安全見守りを行っています。この道路は歩道と車道の段差がなく危険です。小中学生が50人位通ります。グリーンベルト塗装はありますが、車の通行量も多いのでガードレール又は立体ポールを設置して、事故を未然に防ぐ手立てをとるべきだと思います。

質問に立つ船橋まさる議員（12月）

（答）前向きに検討したします。

2. 広島と長崎の原爆投下の日に合わせて、我孫子市でも全員黙とう」を

我孫子市は平和都市宣言をして、平和事業として被爆地への中学生派遣、平和のリレー講座、平和の集いなど毎年行っています。とても良いことだと思っています。平和宣言都市として、ぜひ原爆投下の日に全市民への黙とうなどを進めてもらいたいと思います。ちなみに四街道市は原爆投下日の約10分前に防災無線などで全市民に黙とうを呼びかけています。

（答）平和都市宣言について毎年「広報あびこ」に全文掲載しています。また毎年8月に平和祈念式典を開催し原爆犠牲者のご冥福と恒久平和を祈念し黙とうや献花を行っています。防災無線を使うのは目的が違うので検討が必要です。

3. 選挙の投票率アップについて

今回の市議会選挙の投票率は前回の42・9%を下回りました。投票率が低い要因の一つは投票所が住所で決められており、すぐ近くに投票所があっても出来ないことにあると思います。何とか最寄りの投票所で投票できないものでしょうか。

（答）市としては期日前投票制度の利用促進に努めています。指定投票所以外での投票については、今後国の動向を注視し調査研究していきます。

【初質問を終えて】

1の「歩道の改善」については、1月16日に道路課の職員が現地調査を行い、安全ポールを設置する方向で取り組むことになりました。

早くも質問の成果が上がりました。嬉しい限りです。2と3の質問については、めぼしい回答はありませんでしたが、その実現のために今後も頑張っていきます。

（船橋まさる）

日本共産党委員長に田村智子さん

日本共産党は1月に開かれた第29回党大会直後の第1回中央委員会総会で、田村智子さんを新しい幹部会委員長に選出しました。

田村新委員長は「日本共産党が希望の政策を届け、国民と一緒に運動を広げ、『日本共産党ここにあり』という姿勢をみせていく。ここに挑戦していきたいです」と語りました。史上初の女性委員長の実現は、ジェンダー平等実現のために懸命に取り組んできた日本共産党の重要な到達点になりました。なお、志位和夫前委員長は議長に選出されました。

岩井議員の質問

12月議会は、11月に行なわれた市議会選挙後、初めての議会で、12月6日から22日まで開催されました。

日本共産党市議団は、12月14日に岩井議員と船橋議員が質問を行いました。

1　地球温暖化防止対策について

54の市の施設の中で太陽光発電施設はわずか9施設で、その後調査していないことが明らかになりました。早急な調査と増設を要求しました。

2　我孫子市にふさわしい手賀沼について

手賀沼には2つの漁協がありますが、3・11後、魚の販売ができません。セシウムの基準は50ベクレル／kg以下ですが、現在9.2ベクレルにもかかわらず、自粛しています。安全安心な手賀沼となるよう訴えました。

花火

日本共産党の機関紙「赤旗」は2月1日、創刊96年目を迎えた。創刊時は「赤旗」は「せっき」と呼ばれていた。弾圧により戦前の発行は1935（昭和10）年2月20日、187号でストップした▼再刊されたのは45年10月、47年7月には新聞の題字を「アカハタ」とカタカナにした。59年3月「日曜版」が発行された。66年になって題字を「赤旗」に戻し、さらに97年4月「しんぶん赤旗」とした▼2月1日の「赤旗」では創刊96周年を迎えて「国民に真実を伝える役割さらに」と題する主張を掲げた▼今大問題となっている自民党の裏金問題は、一昨年11月6日号の日曜版スクープが発端である。また19年10月6日号の日曜版が安倍首相（当時）の「さくらを見る会」の私物化と不正をスクープした。この一連の報道で日曜版は2020年の日本ジャーナリスト会議大賞を受賞した▼現在、「しんぶん赤旗」「しんぶん赤旗日曜版」電子版など合わせて85万部を発行している。政党機関誌として最大部数を維持している。「しんぶん赤旗」の役割は大きい。（竹）

寄せられたお祝いの声

渡辺初子さん

「しらかば北」１００号記念祝賀会、楽しくおいしく、語り合い、思いのほか皆さんが「しらかば北」を期待して読んでくださっていることに喜びを感じた。

当日、新妻さんからあびこ女性後援会のラインに写真、文章を流し、22名のラインから「おめでとう」「にぎやかでいいですね」「楽しそうですね」等の反応があった。

後日も、毎回楽しみにしています、社会情勢、国、我孫子の情勢はもちろん、読む気をさそうのは「花火」をはじめ「この人に聞く」や特に評判の良かった「味の散歩道」楽しみで参考に食べ歩きをした等の感想をいただいた。

先日、友人４人で成田駅前のイタリアン「オリベート」に行ってきた。少し離れたお店探しも、一年に数回載せられたら楽しいかなと提案です。

野村貞夫前議員

しらかば北発行１００号おめでとうございます。

多士済々の方々が毎月編集会議に集まり、練り上げられたニュースの発行に、お疲れさまと申し上げさせていただきます。

８年前、我孫子西地域全域にあった後援会が、北と南に分かれそれぞれ独立した後援会になりました。

丁度この年11月に市議会議員選挙が行われました。この時、日本共産党は岩井康議員一人でした。党は従来どおり複数議員を獲得する方針のもとに私が立候補し、見事当選することができました。

それぞれの後援会が発足後すぐの選挙でしたが、各々独自の活動に全力投球されました。ニュース読者の増加と力強い内容の紙面で当選の後押しとなりました。

今回の選挙でも船橋まさる議員誕生ともなりました。

また忘れてはならないのが、我孫子駅ホームのエレベーター設置の取り組みも、私の議員活動と連携した後援会活動が実現に結びつきました。

北地域は人口集中地域でもあり、日本共産党の３人目の議員に向けても、今から積極的な取り組みを期待したいと思います。

船橋まさる議員

しらかば北１００号おめでとうございます。

関係者のみなさま、ご苦労様でした。これからも身近なこと、情勢などいろんなことを、お願いします。

昨今、暗いニュースばかりですが私の近くの中央学院高校が甲子園に出場することになり喜んでいます。健康第一で２００号、５００号頑張って下さい。

関口哲夫さん

「しらかば北」ニュース１００号発行おめでとうございます。

南の編集担当の関口です。

「しらかば」とのかかわりは、２０１２年からで、当時は南北合同でニュースを発行していました。高齢者介護施設や東日本地震による核廃棄物の仮置き場となった布佐にある最終処分場等現地を取材し、特集記事を載せました。

２０１５年からは北・南に分かれてのニュース発行となりましたが、南の「しらかば」編集会議では「しらかば北」ニュースの内容を毎月紹介しています。

編集は２人が交互に担当し、現在「古墳巡り」「常磐線あれこれ」「文芸欄」「絵画」等、特にニュース２面の読者投稿に力を入れています。

２００号発行目指して共に頑張りましょう。

中村良雄さん

しらかば北後援会ニュース発行１００号記念おめでとうございます。たくさんの後援会ニュース読者や編集委員さんの皆様が一堂に会して賑やかに発行記念のお祝いをする席に一緒させていただき、「しらかば北」の温かさを嬉しく思います。

後援会が南北一緒の頃のニュース「しらかば」と、天王台後援会ニュースは同時期に発行していて今年１月で２３２号となり、「しらかば」の累計発行号数とほぼ同数です。

「しらかば北」紙面はカラー印刷で、見栄えもよく、編集内容も多彩で、多くの人たちの投稿があり、たいへん読みやすく親しみを感じます。今後も読者のニーズに応えて編集・発行することをこころから応援したいと思います。

澁谷廣和さん

後援会員は名ばかりで活動に参加できていないのですが、今回はお誘いもいただき夫婦で参加させていただきました。会報「しらかば北」は創刊から9年近く、毎月発行を続けてきたことに敬意を表します。この会報はレイアウトが優れていて読みやすいこと、記事をいろいろな仕事や経験を持った方が書かれて多様性があること、毎号送られてくるのを楽しみにしています。

１００号発刊記念パーティーでは皆さん元気に後援会とのかかわり、日頃の活動について語られ、私達も何かやらねばと勇気づけられました。

駅エレベーター設置など野村議員の力があったからです。これからも船橋新議員の活動をみんなで支援していきましょう。

会場で能登半島地震災害に対し１万７２１０円の募金を頂きました。

記念集会に参加して下さったつくし野在住の松本守正さんから「投稿」をいただきました。

趣味で地域貢献

定年後も「亭主元気で留守がいい」を実践するために趣味を持ちました。我孫子市の市民文化講座で謡曲茶道短歌、ＮＨＫ文化センターで仏画篆刻消しゴムハンコ、他にテニスゴルフ乗馬など広く浅くです。80歳を過ぎた現在は運転系や頭を使う事は難しくなりましたが消しゴムハンコは続けています。市の放課後対策事業「根戸小あびっ子クラブ」で月１回３年生以上に教えています。駅前のけやきプラザ10階の市民活動ステーションおよび同利用団体からスタンプラリーのハンコ等を何度も依頼されたことがあり、感謝されました。ささやかですが地域貢献ができたと思います。

我孫子市 成人式の賑わい

１月７日我孫子市の成人式がけやきプラザふれあいホールで行われた。

20歳になった新成人は１４０５人で、昨年から６人減った。

全国では１１７万人で６万人の減少である。成人の年齢は従来（明治９年）から20歳であったが、２０２２年４月に改正されて18歳となった。

今年の成人式、我孫子市では18歳ではなく従来通り20歳を対象とした。全国的にもほとんどの市町村は20歳での成人式が行われたという。

けやきプラザ前の広場に、式典が終わった新成人が賑やかに親交を繰り広げていた。生き生きとした輝くような、この若い世代に、10年先、20年先、この国を任せられるよう、誰もが希望を持てる国に変えていくエネルギーを期待したい。

（写真とも　江角）